

平成29年度津地区医師会事業報告

津地区地域医療構想については、平成29年度は県と各病院間の調整や地域包括ケアシステムの構築、在宅医療、介護保険事業を中心とした在宅医療へのシフトがいよいよ始まりました。このことを踏まえて、平成29年7月1日久居一志地区医師会館内に「津市在宅療養支援センター」の開設、9月28日「第1回地域医療連携室連絡協議会」の発足やICTを利用した「バイタルリンク」の稼働などの事業を行ってきました。津市の救急体制について、2次救急の輪番整備が進んだことは救急委員会及び輪番病院、津市救急関係者のご協力の賜物です。また、平成29年4月1日からは「津市応急クリニック」として1次夜間・休日診療所が新たにオープンとなり、スタッフとして課題であった常勤看護師3名の配置確保ができたこと、心電図検査や簡単な外傷処置、新型インフルエンザなどに対応した特別診察室の設置も行われ、津市民にとって急な病気を患っても安心して医療を受けられること、また、2次病院の救急を少しでも手助けできるような仕組みが整ってきたこと、そして、今まで年末年始の1次救急に関しては内科を中心とした会員医療機関が交代で行っていましたが、今年度より新設された応急クリニック1か所での診療が可能になったことは大きな成果であります。

昨年度より定款改定にも取り組み津地区医師会公益事業が円滑に且つ、公益法人会計との収支相償に齟齬がないように整備をしてきた最初の年度となります。

広報活動については「安の津医報」を毎号発刊できしたこと、浦和会長を中心となり地域医療の問題点などを医報に掲載することで津市行政機関との良好なコミュニケーションを図ることができ、多種多様な課題の解決や情報共有に役立ってきました。また、山崎順彦先生には平成17年10月～平成24年12月と平成26年1月～平成29年12月までの長きにわたり表紙を飾って頂きました。誠にありがとうございました。

当医師会は、市民が健やかな生活を送ることができるよう、生涯にわたり手助けを行うことで、国民皆保険を堅持しながら医療の恩恵を広く人々に還元することを目的として様々な事業を精力的に取り組んできました。

公益事業として I. 地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業 II. 看護専門学校事業 III. 地域包括支援センター事業 IV. 介護支援事業を執行してきました。特に、市民に向けて健康増進として市民健康広場の継続事業や質の高い医療が実践できるような事業活動、地域医療構想調整会議とも関連した「かかりつけ医」機能構築に關係して在宅医療や地域包括ケア、介護・訪問看護事業、多職種連携を必要する事業や広域災害訓練・医療安全対策について重きを置いて活動を行って参りました。

医師会への財政支援が厳しくなる中、これらの事業を滞りなく達成できましたことは、会員各位のご理解・ご協力の賜物であることと共に、日本医師会や三重県医師会との連携は勿論のこと、久居一志地区医師会・三重大学医師会・津歯科医師会・津薬剤師会・三重県看護協会そして津市行政機関との密接な關係を築くことできたからであります。

事務室に関しては、医師会事業をこれまでに幅広く周知されている方を新事務長として、

また同時に新たに 2 名の事務員を迎え入れ職員の刷新を行うことができました。暫くの間、看護学校事務長には学校運営の他に当医師会事務室の仕事にも携わって頂きましたこと、看護学校関係者皆様のご配慮に御礼申し上げます。

最後に平成 29 年度事業報告にあたり会員各位はじめ関連団体の皆様、事務室関係各位のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

I 地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業

住民の健康を通して地域社会の健全な発展を進めるため、医師の研鑽により医学水準の向上を図る医学教育、住民の健康増進に直接かかわる健康啓発・広報、健（検）診、予防接種、母子保健、学校保健、救急医療対策、介護保険制度円滑化対策、地域連携対策、災害対策、医療安全対策、産業保健の他、住民の健康を守る対策等を協議する医療関係団体等連絡調整など様々な事業を実施いたしました。

（各事業の概要）

（1）医学教育事業

質の高い医療を提供し、住民の健康増進に寄与するため日頃から医師の自己研鑽が必要である。そのため、最新の知識と技術を学ぶ場として、また、住民の健康保持・増進を図るために専門知識と技能を整理する場として日本医師会生涯教育制度を活用し、医学研修会・講演会・症例検討会を開催いたしました。

なお、久居一志地区医師会とは密接に連携し、医学研修会等を共催するとともに、三重大学医学部の各専門教室と共に医師だけでなく医療関係者を対象になるべく多くの受講機会と各専門分野にわたる知識の研鑽の場を提供いたしました。

また、医療の高度化による専門分野での医学研鑽の重要性から、当医師会の内部に診療科別の医会を設けて研究活動を実施いたしました。

（2）健康啓発・広報事業

市民を対象に、健康啓発講演会、健康相談等を実施する健康イベントを 2 回開催し、健康づくりに関しての普及啓発を行うとともに、毎月発行の「安の津医報」やホームページにより市民及び関係機関に対し当医師会事業等の情報を提供いたしました。

（3）健（検）診事業

津市から特定健康診査、後期高齢者健康診査、介護予防診査、各種がん検診等に係る事業を受託し、会員医療機関で検診等を実施いたしました。

また、その健（検）診事業を安全に実施するための説明会や講習会を開催いたしました。

（4）予防接種事業

津市から「予防接種法」に基づく定期予防接種の事業を受託し、感染防止の対策を図るとともに予防接種事業を行う医療機関に対し安全で確実な予防接種を

行うための研修を実施いたしました。最近、特に重点をおいていることは、医療事故のないよう啓発しているところです。

(5) 母子保健事業

津市が行う「母子保健法」に基づく1歳6か月及び3歳児健康診査の実施の際に小児科医師を派遣し、適切な指導・助言を行うとともに、乳幼児に係る様々な課題を検討するため行政と定期的に検討会・勉強会を実施いたしました。

また、津市からの委託により行っている出産前後の妊婦に対する「すこやか相談」（医療機関内での面接相談）の実施にあたり、協力機関等との調整を行いました。

(6) 学校保健事業

津市教育委員会及び三重県教育委員会等からの要請により、保育所・幼稚園、小・中学校及び高等学校に医師（小児・内科・眼科・耳鼻科）を派遣し、児童生徒に対し日常の健康指導を行うとともに、学校職員の健康指導も行いました。

さらに、校医・園医等の資質向上のための研修会を開催し、学校保健の向上に努めました。

また、児童生徒の健康管理の徹底を図るため、津市教育委員会と委託契約を締結し、小学1・4年生及び中学1年生を対象に心臓検診を行いました。

(7) 救急医療対策事業

ア) 一次救急対策

平成29年4月1日より津市応急クリニック（西丸之内550）が開設され、常勤看護師3名を配置し診療が開始されました。今年度も住民の安心で安全な健康保持に寄与するため津市と委託契約を締結するとともに久居一志地区医師会と合同で一次救急医療を担いました。

大里の津市子供応急クリニック・休日デンタルクリニックを小児科専門とし、津市久居休日応急診療所と津市応急クリニックを内科専門とし診療を行いました。また津市応急クリニックに軽度外傷処置が行える体制を整備しました

各診療所に医師を派遣するため、久居一志地区医師会と連携して当番医及び担当日の設定調整をしました。

年末・年始（12月31日、1月1日、2日、3日）は、今まで内科の会員医療機関が交代で当番を行っていましたが、今年度より津市応急クリニックにて診療を行いました。

イ) 二次救急対策

救急医療対策は喫緊の課題となっており、市内の二次救急輪番病院（永井病院、遠山病院、武内病院、吉田クリニック、大門病院、津生協病院、榎原温泉病院、岩崎病院、三重中央医療センターの9病院）と三重大学附属病院、三重病院、当医師会・久居一志地区医師会及び津市、三重県を構成メンバーとする二次救急対策協議会を設置し、救急医療対策の推進に努めました。

特に、二次輪番病院の勤務医の疲弊が進み、救急医療に支障をきたしていることから大学病院からの医師派遣を調整するとともに、会員である開業医師による二次輪番病院への派遣協力体制の整備も行いました。

ウ) 救急医療機関活動

救急医療対策を少しでも充実させるため、救急病院・救急診療所として告示した医療機関（国立、公立、公的病院を除く）に対して救急隊により搬送される傷病対応にかかる経費の一部を助成いたしました。

(8) 介護保険制度円滑化対策事業

津市の要請を受け、介護保険認定審査会の委員に会員が就任するとともに、主治医意見書作成にかかる研修会を実施し、介護保険制度の円滑な運営支援を行いました。さらに、行政、介護事業者及び医師会のメンバーからなる介護保険事業推進懇談会に参加し、介護保険制度の課題について検討を行いました。

(9) 地域連携対策事業

高度化、専門化している今日の医療現場において、医療機関相互の役割に応じた連携がますます必要となっており、特に病院と各診療所との連携は重要であります。その一つとして、平成3年12月に小児分野で県下唯一の小児専門二次救急病院である三重病院と津地区医師会所属の診療機関で「津地区医師会オープンシステム」を立ち上げ、診療所医師と三重病院担当医師が協力して診療に当たるシステムの構築を図りました。

また、地域包括ケア委員会では在宅医療・介護の地域連携の構築に向けて津市と連携して取り組んできました。

(10) 災害対策事業

当医師会は、津市地域防災計画の救護班としての役割を担っており、津市総合防災訓練への参画や津市消防本部との意見交換を重ねておますが、平成23年3月に発生した東日本大地震の教訓を踏まえ、平成24年度から当医師会内に大規模災害救護医療に関する対策委員会を立ち上げ、行政との一層の連携の下、大規模災害時における市民の生命の安全を確保するための対策を推進するために、災害時における救急医療体制の見直しの検討を進めました。

(11) 医療安全対策事業

医療事故は医療機関の大小にかかわらず発生していますが、主にその対策は大病院を中心に取り組まれてきたため、平成22年度から久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会、県看護協会と合同で対策委員会を設置して最新の知識を有している講師を招聘し、合同医療安全研修会を開催し中小の医療機関の医療安全の推進に努めてまいりました。

(1 2) 産業保健事業

「産業保健活動支援事業」により、従業員 50 名未満の小規模事業所の従業員の健康保持を担う地域産業保健センター事業（特定健康相談、長時間労働・高ストレス面接指導、事業所訪問指導、事業所訪問（コーディネーター））を推進しました。また、産業医に対して、三重県産業保健研修会の受講を薦め、その資質向上を図り地域労働者の健康保持の増進に努めました。

(1 3) 医療関係団体等連絡調整事業

日本医師会及び三重県医師会との連携、ならびに県内都市医師会との情報交換を通じ、住民の健康を守るため、特に、久居一志地区医師会とは津市 2 医師会連絡協議会を組織し、密接に連携して津市の保健事業の推進に参画するとともに、津歯科医師会、津薬剤師会及び久居一志地区医師会と共同で津市との政策懇談会を開き、市の健康福祉対策についての提言に対する意見交換を行いました。

なお、「地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業」のそれぞれの主な実績状況は次のとおりです。

平成 29 年度地域の保健・福祉の向上による促進を図る事業の主な実績

(1) 医学教育事業

① 医学研修の充実と日本医師会生涯教育制度実践の強化

- ・医学研修会等を 127 回開催 [主催・共催—94 回、後援—33 回]
- ・久居一志地区医師会と合同で臨床集談会の開催 (H29. 9. 21)

参加者：29 名（うち会員 20 名）

② 県医師会主催の産業医研修会への参加 [開催回数：3 回]

第 1 回産業医スキルアップ実施研修 (H29. 12. 21) 参加者 146 名（津会員 19 名）

第 2 回産業医スキルアップ実施研修 (H30. 3. 1) 参加者 32 名（津会員 4 名）

第 3 回産業医スキルアップ実施研修 (H30. 3. 15) 参加者 49 名（津会員 9 名）

③ 会員の資質の向上と会の活性化を図るため、各科医会及び班別に研修会及び情報交換会を開催

- ・各科医会（9 科）：整形外科、産婦人科、小児科、皮膚科、外科、耳鼻科、泌尿器科、眼科、内科

- ・各班別（6 班）：医師会内の地域を 6 地区に分けて班を構成

(2) 健康啓発・広報事業

① 市民健康広場（健康イベント）の開催状況

- ・第 32 回（こども部会）

開催日：H29. 7. 9 参加人数：158 名

内容：「おじいちゃん・おばあちゃんと孫と一緒に遊ぶふれあい広場」

ソフリエみえによる子育て応援&工作体験、
医療相談会（小児科4名・眼科1名・皮膚科8名・耳鼻科3名）

・第33回（おとな部会）

開催日：H29.11.12 参加人数：88名

内容：講演会〔演題一「生活習慣病を理解して護ろう健康！」〕

骨密度測定〔70名参加〕、

体脂肪測定、介護用品展示及び介護相談コーナーを設置

・市民健康広場の開催に当たり、各報道機関、公共機関へチラシ等を配布

② 市民健康広場の開催に伴う部会の開催

・市民健康広場（こども部会） 開催日：H29.4.7・H29.6.15

・市民健康広場（おとな部会） 開催日：H29.10.2・H29.11.20

③ 市民及び関係機関に関し、当医師会事業等の情報提供の状況

・当医師会の機関誌「安の津医報」を毎月発行

・当医師会のインターネットホームページを開設し、毎月更新

医療機関紹介掲載：平成30年3月現在170件

（検索方法—50音順、小学校区分、診療科目）

・各会員の近況報告、情報交換などを目的とした医療情報ネットワークの開設

（3）健（検）診事業

① 検診に関する下記の説明会に出席

・津市各種がん検診実施要領説明会（H29.6.20）

・特定健診特定保健指導実施要領説明会（H29.6.20）

・津市国民健康保険特定保健指導（動機づけ支援）説明会（H29.7.28）

② 平成29年度の健診業務に向けて、津市2医師会連絡協議会の成人保健事業担当部会への出席

〔津市及び久居一志地区医師会との合同会議〕

開催回数2回：H29.5.8、H30.2.23

・成人部会ワーキング・・H29.8.8、H29.11.1

・胃がん検診ワーキング・・H29.5.30、H29.6.16、H29.7.5、H29.7.28、H29.9.6、
H29.12.7、H30.1.31、H30.3.12

・子宮がん検診ワーキング・・H29.8.3

開催場所：津市役所

③ 特定健康診査、長寿医療健康診査、健康増進法健康診査及びがん検診を実施

〔がん検診の種類〕

胃がん（内視鏡、X線）、大腸がん、前立腺がん、肺がん（喀痰、X線）、

乳がん（マンモ、エコー）、子宮がん（頸部、頸部＋体部）、肝炎ウイルス検査

〔乳がん及び肺がんX線の健診数〕

・肺がん—22,923件

・乳がん—5,642件

- ④ 肺がん検診読影会の開催状況等
- ・読影会の開催数：延べ14回
(8月～12月の間毎月2回開催、H29.4・H30.1～3月の間毎月1回開催)
 - ・講師人数：毎回、三重大学医学部附属病院の講師4名を招聘
〔検診受診者増加のため8月～12月は2グループに分けて実施
(H29.4・H30.1月～3月は1グループにて実施)〕
 - ・読影に関して、デジタルデーター3台)での二重読影と肺がんシャウカステン4台との同時読影
- ⑤ 乳がん検診読影会の開催状況等
- ・乳がん研修会の開催 (H29.6.9) 出席者：31名（うち会員28名）
 - ・読影会の開催数：延べ9回 (H29.4・8月～H30.3月の間毎月1回開催)
 - ・講師人数：毎回、三重大学医学部附属病院の講師2名を招聘
- ⑥ 津市健康相談への医師派遣・協力状況
- ・津市健康づくり推進懇話会へ担当理事等が出席（開催は随時）
 - ・女性のための健康相談会へ担当理事が出席（開催は随時）
 - ・こころの健康相談への出席（開催は随時）
 - ・食生活改善推進員支援研修会（開催は随時）

(4) 予防接種事業

- ① 予防接種協力医研修会の開催 [H30.2.27：出席者130名（うち会員75名）]
- ② 津市2医師会連絡協議会の予防接種部会への出席 (H29.1.31)
- ③ 予防接種説明会(H29.7.25(午前・午後)、H29.7.31、H29.8.4)
- ④ 予防接種担当部会 (H29.7.4、H29.12.26)

(5) 母子保健事業

- ① 乳幼児健診部会・事例検討部会の開催（第1木曜日で4回開催）
- ② 津市1歳6ヶ月児健診の実施状況
 - ・津市中央保健センター：医師2名 2回/月 6回 1回/月 6回
 - ・久居保健センター：医師2名 年間24回（津3名・10回）
- ③ 津市3歳児健診の実施状況
 - ・津市中央保健センター：医師2名 2回/月 10回 1回/月 2回
 - ・久居保健センター：医師2名 年間18回（津3名・12回）
- ④ 津市3歳児耳鼻科健診の実施状況
 - ・津市中央保健センター：医師1名 2回/月 22回
(自宅アンケート確認含む)
- ⑤ 津市3歳児眼科健診の実施状況
 - ・津市中央保健センター：医師1名 1回/月 12回
- ⑥ 母子保健事業担当部会 H29.9.25
- ⑦ 昨年度に引き続き、熱田小児科クリニック内に地域子育てセンターを開設。[センターの名称：津病児ディケアルーム「ひまわり」]

また、病児・病後児保育事業受託医療機関として、岩尾こどもクリニックが津市から指定を受けた。

- ・津市児童虐待防止等ネットワーク代表者会議 (H29. 6. 29)
- ・学校保健委員会 (H29. 10. 3、H30. 1. 26)
- ・津市学校保健推進委員会 (H29. 10. 13)
- ・5歳児健診等にかかる検討会 (H29. 9. 26・H30. 1. 9)

(6) 学校保健事業

- ① 津市内の児童生徒及び学校職員に対しての健康指導の実施状況
 - ・学校の派遣数=小学校（32校）、中学校（14校）、その他幼稚園（24校）
 - ・医師の派遣人数=小児 内科（42名）、眼科（14名）、耳鼻科（14名）
- ・津市社会福祉事業団評議員会 (H29. 6. 23、H30. 3. 27)
- ② 津市内の児童生徒
 - （対象：小学校1・4学年・中学校の1学年）の心臓検診の状況
 - ・受診人数=小学校-3,252名、中学校-1,534名 合計-4,786名
 - ・心電図判読の結果、有所見者数
小学校-52名、中学校-50名 合計-102名
 - ・心電図判読委員会に出席した医師人数 16名
〔判読委員会の開催=H29. 5. 13、H29. 6. 3 の2回実施〕
 - ・有所見者がいる学校の養護教諭に対する心電図説明会を実施 (H29. 6. 23)
〔津市教育委員会は、有所見者が該当する校長に対して、
「心電図検査所見者経過調査報告書」を作成し発送〕

- ③ 学校医及び会員を対象に津地区学校保健研修会を開催

開催日=H30. 2. 20 場所=当医師会館講堂

「小児心疾患の発見における学校心臓検診の役割」

参加人数=46名（内、会員46名）

- ④ 学校保健安全研究大会・学校保健総会 担当理事出席 (H29. 6. 22)
 - ・全国学校医大会 (H29. 11. 18) 8名出席
- ⑤ 全国学校保健推進委員会 (H30. 2. 15)

(7) 救急医療対策事業

- ① 津地域・久居メディカルコントロール協議会
- ② 津市応急クリニック診療開始 (H29. 4. 1)
- ③ 津市応急診療所の運営に関わる情報交換会 (H29. 6. 23)
- ④ 津市応急診療所における救急患者受け入れ可能医療機関のアンケート実施
- ⑤ 津市夜間応急診療所の医師派遣状況
 - ・津市応急クリニック（西丸之内550）
当会員協力医師数 66名 久居一志地区医師会 22名 非会員2名
 - ・津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニック（大里窪田町）
当会員協力医師数 11名 （他に久居一志地区医師会及び三重大学付属病院並

びに三重病院の医師も協力) 津市歯科医師会医師

⑥ 津市応急診療所における休日(昼間)の診療

- ・津市応急クリニック(西丸之内550)

当会員協力医師数 66名 非会員2名

- ・津市久居休日応急診療所(久居本町)

久居一志地区医師 11名 当会員協力医 4名

⑦ 5月連休・盆・年末年始の診療

昼、夜 津市応急クリニック及び津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニックにて診療。

- ・耳鼻科医会員独自で在宅当番協力

⑧ 二次救急関係

- ・二次救急医療体制協議委員会(輪番9病院代表者会議)への出席

開催日(2回): H29.6.27、H29.12.20

- ・二次救急打合せ会(H30.2.15)

構成団体: 三重大学医学部附属病院、津地区医師会、久居一志地区医師会

- ・永井・遠山・武内・岩崎・吉田・津生協・大門の7病院及び久居一志地区医師会の2病院の協力より、休日及び平日夜間の病院群輪番制にて二次救急を実施

- ・津市消防との意見交換会(H29.8.4)

(8) 介護保険制度円滑化対策事業

① 津安芸介護認定審査会委員は昨年度に引き続き、津市の被保険者の要介護認定、要支援認定に係る審査及び判定等を実施

[委員の人数ー当会員48名、任期ー平成29~30年度の2年間]

② 市主催の津市介護保険事業関係者懇談会に参加し、主治医意見書に関する改定・注意点等を学び、後日、当医会で研修会を開催

③ 主治医意見書に関する研修会の開催(H30.3.19 参加者ー41名)

「介護認定審査会委員のテキストより説明」(うち会員 38名)

④ 平成29年度介護認定審査会委員新任研修会(H30.3.29)

⑤ 平成29年度介護認定審査会委員現任研修会(H29.12.2)

⑥ 介護保険事業等検討委員会及び担当部会ワーキング会議

(H29.4.24・H29.5.31・H30.2.21)

(9) 地域連携対策事業

① 病診連携医学研修会への参加

構成医療機関: 遠山病院、永井病院、武内病院、岩崎病院、津生協病院、三重病院

② 久居一志地区医師会と津地区脳卒中地域連携協議会を開催(開催隨時)

③ 在宅医療の充実・連携を図るための下記の委員会・研修会等の開催

- ・在宅医療委員会の開催・在宅医療研修会の開催

(医療側から進める在宅医療普及啓発事業)

1. 「私達の在宅医療」ということ (H29. 8. 31)
参加人数— 80名 (会員医師 11名)
 2. 「四日市医師会における地域医療連携連絡会について」 (H29. 10. 26)
参加人数— 57名 (会員 9名)
 3. 「小家族化の中での地域交通と医療」 (H30. 2. 22)
「ぐるっとつーバスの今とこれから」
参加人数— 50名 (会員 8名)
- (多職種連携事例検討会)
1. 「津地区・久居一志地区をまたいだ連携症例」 (H29. 10. 5)
 2. 「病院療養から在宅医療へ」 (H29. 12. 21)
 3. 「通院が困難な症例について」 (H30. 3. 22)

- ④ 在宅医療関連のアンケート調査の実施
- 在宅医療アンケート
 - 事例の募集案内

その他

- 「津市在宅療養支援センター」開所 (H29. 7. 1)
- 津地区医療・福祉地域連絡会 (H29. 9. 28)
- ⑤ 「知っとく・なっとく 津の在宅医療」 (H30. 2. 1)
- 参加人数— 200名

(10) 災害対策事業

- ① 津市が主催の下記会議に出席
- 津市災害医療に係る検討会議 (H29. 7. 14、H29. 10. 6、H29. 12. 18、H30. 2. 2)
 - 津市防災会議 (H29. 10. 27、H30. 2. 2)
 - 津市総合防災訓練全体会議 (H29. 7. 5、H29. 8. 30、H29. 10. 30)
 - 三重県・津市総合防災訓練 (H29. 11. 12、美里グランド)
 - 地域別災害医療コーディネーター研修会 (H29. 6. 29)
- ② 三重県津保健所主催の下記会議に出席
- 津地域災害医療対策会議 (H29. 5. 25、H29. 6. 22、H29. 7. 13、H29. 10. 12)
- ③ その他
- 三重県医師会転院搬送に関する連絡協議会 (H30. 3. 29)
 - 三重県救急搬送・医療連携協議会 (H30. 2. 1)
 - 津地区医師会大規模災害委員会 (H29. 7. 5、H29. 8. 29、H29. 10. 30)
 - 安否確認メールの一斉送信 (H29. 7. 29)
- ④ 津市シティマラソンで救急担当医師 1 名派遣 (H30. 2. 25)
- 開催場所：安濃中央総合公園
- ⑤ その他当医師会として災害発生に備え、下記のものを準備
- 県医師会からの支給された災害緊急連絡用携帯電話機を設置
- 電話携帯者：会長、救急担当副会長、同担当理事、事務室 (事務長連絡兼用)

- ・防災無線電話（津市より貸与）
- ・半自動除細動機 1 台（医師会館エントランス設置）
- ・防災用ベスト 150 着（本年度）合計 165 着

（11）医療安全対策事業

- ① 医療安全対策委員会への参加（H29. 11. 29）

構成団体：津地区医師会、久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会
三重県看護協会

- ② 合同医療安全研修会（1回開催）への参加

第 13 回：H30. 2. 14 参加人数－71名（うち会員 21 名）

（12）産業保健事業

- ① 津地域産業保健センター運営協議会（H29. 10. 26（参加者 12 名参加））

地域産業保健センター コーディネーター会議

産業保健研修会（改正労働安全衛生法に基づくストレスチェックへの対応）

（H29. 11. 21）

三重県医師会産業医委員会（県医師会 H29. 11. 16）

- ② 津地域産業保健センター相談窓口の相談状況

- ・特定健康相談（サテライト） 449 件
- ・長時間労働・高ストレス面談指導（サテライト） 38 件
- ・個別訪問による産業保健指導 41 件

- ③ コーディネーターによる事業場訪問件数 111 件

・産業医アンケート実施

（13）医療関係団体等連絡調整事業

- ① 津市との連携強化を図るため、下記の会議等に出席

・津市長と三師会との懇話会

開催日：H29. 10. 19 参加人数－62名（うち会員 11 名）

三師会構成団体：津地区医師会、久居一志地区医師会、津歯科医師会、
津薬剤師会

（14）その他

- ① 全国高等学校総合体育大会津市実行委員会（H29. 5. 10）

- ② 国民体育大会津市準備委員会 常任委員会・総会（H29. 7. 24）

- ③ 津市国民健康保険運営協議会

- ④ 津市福祉事務所老人ホーム入所判定委員会

- ⑤ 津地域感染症等危機管理ネットワーク会議（H29. 9. 7）

- ⑥ 津市成年後見サポートセンター運営委員会

（H29. 5. 18、H29. 8. 17、H29. 10. 19、H30. 1. 15）

- ⑦ 津市献血推進委員会（H29. 8. 1）

II 看護専門学校事業

看護を取り巻く環境は、近年の少子高齢化において、人々の健康に対するニーズや価値の多様化・個別化する一方、医療の高度化・専門化・疾病構造などの変化が著しい中、それらに適切に対応できる質の高い看護師を養成し、地域の医療・保健・福祉の向上に寄与することを目的に事業を実施致しました。

〔事業の概要〕

全国的にも社会問題となっている看護師不足の現状を踏まえ、豊かな人間性あふれる専門職業人として、生涯にわたり自己研磨できる能力を備えるとともに、「和顔愛語（わげんあいご）」の精神をもって看護を実践できる看護師を育成してまいりました。

毎年度、卒業生の看護師国家試験合格率も高く、平成29年度卒業生（32名）は、全員合格しました。

※ 和顔愛語とは、仏教用語で一般的に解釈すれば「優しい顔つきと温かい言葉」だが、本来この言葉は、単に顔つきと言葉遣いについて言っているものではなく「何のをも受け入れる寛容のこころと慈悲の愛にあふれた暖かい言葉（こころ）」つまり、人は「利他のこころ」を備えるべきであることを表した言葉で、本校ではこの精神を全カリキュラムのなかに取り入れている。

※ 教育目標

- 1) 生命の尊厳・人格の尊重を基盤とした人間理解と病気や苦難の体験の意味を考えることのできる能力を養います。
- 2) 看護に必要な専門的知識、技術、態度を学び、応用できる能力を養います。
- 3) 地域に密着し、住民のニーズ、社会の変化に対応しうる看護師の育成をします。
- 4) 豊かな感性を育み、自己成長のために自己研磨できる看護師を育成します。

なお、平成29年度卒業生の就職状況は次のとおりでした。

卒業生 32名 (内訳)	1. 津市内医療機関	20名
	2. 津市以外の県内医療機関	10名
	3. 県外	2名

また、平成29年度の運営業務報告は次のとおりでした。

平成29年度三重看護専門学校の運営業務報告

【学校年間行事等】

- 第14回三重看護専門学校入学式 (H29.4.6)
第14期生 44名入学 (女子44名)
- 津地区医師会医療機関奨学生説明会 (H29.4.6)
3医療機関 新入生対象
- 新入生ガイダンス (H29.4.7)
- 前期授業始 (H29.4.10)
- 領域別実習始 (3年生) (H29.4.10)
- 日本学生支援機構予約採用者向け説明会 (H29.4.11)
- 新入生歓迎会 (H29.4.12)
- 定期健康診断 (1年生・3年生) (H29.4.12)
- 津地区医療機関就職説明会 (H29.4.19)
8医療機関 1年生及び2年生 40名出席
- 昭栄広報進学説明会 アスト津 (H29.4.25)
- 奨学金説明会 (日本学生支援機構・三重県看護師等修学資金) (H29.4.27)
1年生 4名参加
- 防災 (避難) 訓練の実施 (H29.4.28)
地震(津波)を想定して偕楽公園へ徒歩にて避難 (1年生)
- 日本学生支援機構奨学生辞退者対象説明会 3名参加 (H29.5.10)
- 精神看護学概論「こころの健康」研修 (H29.5.11)
1年生 44名参加 伊賀
- クリニック体験学習 (H29.5.17)
19医療機関 1年生 44名参加
- 日本学生支援機構採用時 (高校予約) 説明会 (H29.5.29)
1年生 8名参加
- 災害看護と国際看護 研修旅行 (H29.7.20)
2年生 39名参加 神戸市「人と防災未来センター」他
- 防犯教育・防火訓練の実施 (H29.7.27) (1年生)
- 第1回オープンキャンパス・第14回文化祭 同時開催 (H29.7.29)
来場者数 167名
- 夏季休業 (H29.8.1~H29.8.31)
- 第2回オープンキャンパス (H29.8.26)
来場者数 118名
- 基礎看護学実習I-1 (H29.9.14)
- 領域別実習終了 (3年生) (H29.9.29)
- 前期授業終 (H29.9.29)

- 後期授業始 (H29. 10. 2)
- 看護の統合実習 (H29. 10. 5～20)
- 定期健康診断（2年生） (H29. 10. 5)
- 基礎看護学実習 I -2 (H29. 10. 20～10. 27)
- 基礎看護学実習 II (H29. 10. 30～11. 17)
- 日本学生支援機構採用時説明会 (H29. 11. 21)
 - 2年生 1名
- 日本学生支援機構返還説明会 (H29. 11. 28)
 - 3年生 9名参加
- 日本学生支援機構継続願提出説明会 (H29. 12. 15)
 - 1年生・2年生参加
- クリスマス会（3年生） (H29. 12. 22)
- 冬季休業 (H29. 12. 25～H30. 1. 7)
- 領域別実習始（2年生） (H30. 1. 9～3. 9)
- 看護師国家試験壮行会 (H30. 2. 7)
- 第107回看護師国家試験 (H30. 2. 18)
 - 卒業予定者32名受験
- 実習・国家試験を語る会（3年生・2年生） (H30. 2. 21)
- 同窓会説明（3年生） (H30. 2. 28)
- 第12回卒業式 (H30. 3. 1)
 - 卒業生32名（女子32名） 卒業生謝恩会（津都ホテル）
- 図書（蔵書）点検 (H30. 3. 22～3. 23)
- 後期授業終 (H29. 3. 23)
- 春季休業 (H29. 3. 25～4. 6)
- 第107回看護師国家試験合格発表 (H30. 3. 26)
 - 卒業生32名 全員合格
- 実習室備品点検 (H29. 3. 27)

【第15期生 平成30年度学生募集】

- 平成30年度学生募集要項出来上がる (H29. 4. 26)
- 業者主催の進学相談会に参加
 - (H29. 4. 20、4. 25、4. 26、6. 7、6. 13、6. 14、6. 15、7. 11)
- 津地区医師会各医療機関へ学生募集要項・ポスター送付 (H29. 5. 15)
- 三重県下高校41校（高校訪問しない学校）に学生募集要項・ポスターを送付 (H29. 5. 19)
- 第1回高校訪問 (H29. 5. 29～6. 16)
 - 三重県内公立・私立高等学校36校を訪問
- 三重県看護協会主催「みえ看護フェスタ2017」参加 (H29. 5. 13)

- 推薦・社会人入学試験願書受付 (H29. 10. 6～13)
出願者 推薦・社会人入学 42名
- 推薦・社会人入学試験実施 (H29. 10. 25)
受験者 推薦・社会人入学 42名
- 推薦・社会人入学試験合格発表 (H29. 11. 6)
合格者 推薦・社会人入学 32名
- 一般入学試験願書受付 (H29. 11. 7～17)
出願者 一般入学試験 66名
- 一般入学試験実施 (H29. 11. 24)
受験者 一般入学試験 61名
- 一般入学試験合格発表 (H29. 12. 4)
合格者 一般入学試験 12名
- 入学説明会 (H30. 3. 27)
入学予定者 (15期生 44名)

【諸会議等】

- 運営会議 9回開催 (H29. 5. 31、7. 26、8. 30、9. 27、11. 29、12. 28、H30. 1. 31、2. 28、3. 26)
- 教務会議 21回開催 (月2回程度開催)
- 職員会議 1回開催 (H29. 4. 4)
- 自己点検・評価委員会 1回開催 (H30. 3. 19)
- 入学試験委員会 4回開催 (H29. 9. 27、11. 1、11. 29、H30. 3. 26)
- 学生委員会 1回開催 (H30. 3. 19)

【その他主な学校業務等】

- 環太平洋大学実習生1名受入 (H29. 5. 15～5. 26)
- 三重県看護学校校長会 役員会・総会 (H29. 6. 22)
- 市民健康広場への参加 (第32回 H29. 7. 9、第33回 H29. 11. 12)
教職員・学生ボランティア参加
- 三重県・津市総合防災訓練 (H29. 11. 8) 教員・学生ボランティア参加
- 三重県赤十字血液センターによる献血セミナー (1年生) (H29. 9. 29)
- 津年金事務所による年金セミナー (3年生) (H29. 12. 1)

III 地域包括支援センター事業

地域包括支援センターは平成17年の介護保険法の改正で位置づけられ、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、各市町村に設置され、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士が専門性を生かして相互連携しつつ業務に当たります。

津市では高齢福祉課の津地域包括支援センターを核とし、市内 9 地域に分けて、関係団体に委託し設置しています。津市地域包括支援センターを含め合計 10 か所設置されています。当医師会は平成 21 年 8 月から津中部北部地域包括支援センターとして委託を受け、市内の橋北・東橋内地区の高齢者に対して、心身の健康の保持並びに生活の安定を図るため事業の実施に当たってきました。

[平成 29 年度事業の概要]

保健師 2 名、主任介護支援専門員 1 名、社会福祉士 1 名、事務員 1 名を配置し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するため可能な限り要介護状態とならないよう相談や健康運動実施等の支援を行うとともに、要介護状態となった場合でも必要なサービスが提供されるよう介護支援専門をはじめとする関係者の連携体制の構築を図りながら事業を進めてきました。

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防に関する知識の普及・啓発を図り、パンフレットの作成、健康講話の依頼を受けました。「包括だより」を 3 回発行し地域に回覧をしました。

橋北地区・東橋内地区のスクエアステップ教室、ダンス教室、地域の健康教室等、教室を開催しました。

津市が開催する介護予防教室の委託を受け、担当地域で 1 クール開催しました。

(2) 総合相談支援事業

地域に住む高齢者および親族等の相談に応じ、どのような支援が必要か把握し、地域における適切なサービス、関係機関および制度の利用につなげる等の支援に取り組みました。

高齢者数が増えるに伴い、相談件数が増えたことと、介護支援専門員や地域住民へ周知されていることもあり、相談件数は増加しています。

判断能力が低下した高齢者の状況を把握し、親族等と相談し成年後見制度の利用について勧めました。また、虐待の報告や相談を受け、高齢者の状況確認や擁護者に対し面談を行うなど虐待防止に努めました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるには、介護支援専門員、主治医、関係機関等の連携が重要であり、そのための連携体制づくりとして、津市内の地域包括支援センターと共に「津市医療・福祉研修会」を今年度も継続しました。また、圏域内の居宅介護支援事業所を対象に、事例検討会を開催したり、介護支援専門員が抱える支援困難事業について後方支援を行いました。

(4) 指定介護予防支援事業

要支援者に対する介護予防サービス計画の作成とサービス提供の調整を行いました。

また、居宅介護支援事業所と連携を図り介護予防サービス計画の委託を行いました。

(5) その他の事業

○ 他職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

地域ケア会議の開催

生活・介護支援センターのフォローアップ講座を開催

- 地域で認知症を理解し、認知症とその家族を見守る認知症サポーターの養成講座を開催しました。

講座名：認知症サポーター養成講座

- 津市内地域包括の合同行事に参加、津市内の地域包括支援センターとしての統一を図りました。
- 今年度から「津市認知症施策総合推進事業」の委託を受け、「認知症地域支援推進員」としての活動をしました。
- 職員のスキルアップのために、必要な研修に随時参加しました。

また、29年度の地域包括支援センターの主な事業実績は別紙のとおりでした。

平成29年度地域包括支援センターの主な事業実績

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

【当包括主催事業】

- ダンス教室（毎月1回） 開催回数 10回 参加者数 延332人
- スクエアステップ（3か所で開催、合計月4回） 開催回数 46回 参加者数 延1164人
- 上浜公団健康教室（毎月1回） 開催回数 12回 参加者数 延45人
- 「包括だより」発行（H29年6月、10月、H30年2月）

【依頼事業】

- 南立誠地区老人クラブ連合会健康教室 出席回数 4回 参加者数 延96人
- 老人クラブ健康教室（1か所より依頼）出席回数 1回 参加者数 延20人
- いきいき健康サロン（5か所より依頼）出席回数 8回 参加者数 延107人
- 南立誠地区社協ふれあい給食 出席回数 4回

(2) 総合相談支援事業

- 相談件数 合計 2,532件
- 虐待対応件数 125件（6名）

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- 意見交換会 参加者 12名（H29年5月16日）対象者：管内介護支援専門員
- 事例検討会 参加者 12名（H29年7月11日）対象者：管内介護支援専門員
- 意見交換会 参加者 15名（H29年10月17日）対象者：管内介護支援専門員
- 事例検討会 参加者 14名（H30年1月16日）対象者：管内介護支援専門員

(4) 指定介護予防支援事業

- 直営予防ケアプラン作成件数 延 461 件
- 委託予防ケアプラン件数 延 2, 051 件

(5) その他の事業

- 他職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

地域ケア会議

- 南立誠地区 (H29年4月29日) ネットワーク構築機能
- 敬和地区 (H29年6月21日) ネットワーク構築機能
- 北立誠地区 (H29年10月28日) 個別課題解決機能
- 敬和地区 (H29年12月20日) 個別課題解決機能
- 敬和地区 (H30年3月16日) 個別課題解決機能

- ・生活・介護支援サポートフォローアップ事業 (H30年2月) 参加者延 26 名

○認知症サポート一養成講座

対象団体	第一三共三重支店 (H29年6月)	参加者数 25名
	橋北地区社協 (H29年7月)	参加者数 81名
	マリモコミュニティ (H29年8月)	参加者数 31名
	やさしい手 (H30年1月)	参加者 8名
	コープ三重 (H30年3月) 3回	参加者 28名

- 地域密着型事業所運営推進会議出席 2 施設 4 回

- 24時間体制携帯電話設置

- 津市内地域包括支援センター全体会議 (毎月)

- 津市内地域包括・在宅介護支援センター中部エリア会議 (5月・10月・2月)

- 津市内地域包括支援センター各職種専門部会 (3職種各6回)

- 認知症事例相談会・世話人会 (8回)

- 在宅医療・介護研修会 (3回)

- 在宅医療研修啓発部会 (3回)

- 認知症地域支援推進員活動

- ・認知症地域支援推進員会議 (15回)
- ・認知症カフェ参加 (12回)
- ・認知症サポートステップアップ研修 (2回)
- ・認知症カフェ交流会 (1回)

- 研修会参加

IV 介護支援事業

超高齢社会の進展により、家庭で療養する高齢者が増加し、在宅・介護のニーズや、がん末期患者のターミナルケア等の在宅療養のニーズの増加に対応するため、当医師会は平成4年に県下で初めて訪問看護ステーションを立ち上げました。

更に、平成12年に居宅介護支援事業も開始するとともに、当医師会においては、在宅医療を担う医療機関の機能強化や多職種を含めた連携の重要性から今年度より新たに在宅医療委員会を立ち上げ、増大している在宅医療に適確に対応するため、当訪問看護ステーション事業と居宅介護支援事業はその要として、大きな役割を担ってきました。

なお、在宅医療・看護を「住み慣れた地域での生活を支える」という共通の目的を達成する手段と位置付けられることから、在宅医療と看護を一つの事業として実施してきました。

[事業の概要]

(1) 訪問看護ステーション事業

訪問看護は、介護保険の適用される高齢者、病気や障害のある人が、医師の判断に基づき住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、看護師が医師の指示を受けながら療養生活の援助・指導、褥瘡予防や処置等の医学的ケア、難病や癌患者等の終末期医療（ターミナルケア）及びリハビリステーション等の看護サービスを行います。

津市内訪問看護ステーションも17カ所に増えましたが、その中で実際に24時間対応の体制を整えているのは数カ所であります。当ステーションでは、

地域の医師、特に在宅支援診療所、在宅支援病院との連携のもと、対応が困難な療養者、難病、ターミナルケア等の医療依存度の高い利用者、更に、独居、生活困窮者などについては福祉行政とも連携しながら24時間利用者が安心して地域・在宅で過ごせるよう支援しております。

又、本会の訪問看護ステーションは県内では最も早くから事業を開始し、先導的役割を果たしてきました。職員である看護師に対して三重県訪問看護連絡協議会より地区理事、三重県看護職員確保対策検討委員、津地区医療福祉地域連絡会委員の拝命など保険医療福祉の連携のもと訪問看護の充実推進に努めております。又、地域の看護教育支援のため、三重県立看護大学、三重看護専門学校の看護実習生や訪問看護養成講習の実習生、退院調整看護師の実習も以前と同様に受け入れ当会の介護支援センターとともに人材育成に貢献しております。

(2) 居宅介護支援事業

介護支援センターは、介護支援専門員（ケアマネージャー）が介護保険の要介護認定者に対して自宅において必要な居宅サービスを適切に利用できるように心身の状況等を勘案して「居宅サービス計画（ケアプラン）」を作成しその計画に従ったサービスが提供されるように「サービス担当者会議」の開催など事業者等との連絡調整を行っています。なお、当医師会の運営であることや介護支援専門員が保健師の資格を有していることなどから、

医療依存度の高い相談が寄せられることが多く常に利用者の立場に立ち、公正かつ誠実に対応し、医療機関等と綿密に連携して居宅サービス計画を作成して参ります。

また、財団法人介護労働安定センターが行う介護職員基礎研修会へ介護支援専門員を講師として派遣するなど、介護に係る人材育成に寄与するとともに、当医師会訪問看護ステーションと同様に看護学校の実習生を受け入れを行い看護師の養成にも貢献しております。

《研修会等の出席状況》

・ 5月 26日	総合事業勉強会	北部市民センター
・ 6月 15日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ受講	県総合文化センター
・ 6月 21日	介護保険県集団指導	県総合文化センター
・ 6月 28日	介護保険県集団指導	県総合文化センター
・ 7月 7日	介護保険県集団指導	県総合文化センター
・ 7月 21日	介護保険県集団指導	県総合文化センター
・ 8月 10日	介護保険県集団指導	県総合文化センター
・ 9月 25日	認定調査員現任研修	芸濃総合文化センター
・ 11月 1日	包括支援センター主任ケアマネ勉強会 「高齢者の交通安全について」	サンヒルズ芸濃

《運営状況》

職 員	介護支援専門員 3名
	(保健師 1名 介護福祉士 2名)
要介護プラン	623件
要支援プラン	84件
認定調査(外部委託)	20件
サービス担当者会議	82件
退院時カンファレンス	3件
リハビリ会議	5件
医療連携	37件

平成29年度訪問看護ステーション事業実績報告

(会議)

- 運営協議会 11/28 その他、毎月担当理事に事業実績報告
- 三重県訪問看護連絡協議会総会出席 6/4
- 月例ステーション会議(毎月第2金曜日開催 その他随時)

- 三重県訪問看護ステーション連絡協議会地区代表役員会議 4/18
三重県訪問看護ステーション連絡協議会 業務委員会 磯部出席
4/13 7/23 1/20 2/24 災害マニュアル作成
- 三重県立看護大学実習打ち合わせ会議 8/22 磯部出席
- 全国訪問看護連絡協議会東海北陸ブロック交流会会議 11/18 出席
- 三重県訪問看護ステーション津地区管理者会議
4/20, 5/18, 6/15, 7/20, 8/17, 9/21, 10/26, 11/16, 12/21, 1/18, 2/15, 3/15
- 三重中勢地域連携ネットワーク会議 5/22 磯部
- 平成 26 年度県難病医療連絡協議会及び
難病在宅ケア支援ネットワーク整備事業担当者会議 3/1 三重県庁舎 磯部出席
- 三重県看護職員確保対策検討会会議 8/2, 11/16, 2/20 磯部出席
- 敬和地区地域ケア会議 磯部

(研修会)

- 平成 29 年度三重県訪問看護ステーション連絡協議会中央研修 6/4
「在宅における看護力向上を目指して」 磯部、稲葉
- 平成 29 年度訪問看護ステーション連絡協議会中央研修
「県内の訪問看護認定看護師と顔の見える関係づくり」 3/11 小林
- 地域における看取りの為の研修 3/18 小林
- 訪問看護連絡協議会 地区研修 「リフレッシュの為のヨガ」 2/17 磯部
- 訪問看護連絡協議会 地区研修 高齢者虐待防止と対応 11/16 磯部
- 訪問看護連絡協議会 ブロック研修 「リンパ浮腫の看護」 2/18 小林奥井
- 平成 29 年度難病在宅支援研修会 6/4 小林出席
- 平成 29 年度三重県小児在宅看護研修会 4/23, 6/18, 12/10 小林、奥井
- 平成 29 年度看護師リーダー管理者研修 「地域包括ケアの現状」 10/15 磯部
- 介護保険更新手続き説明会及び管理者研修 10/24 磯部
- 地域医療連携室連絡協議会研修 10/26 小林
- 訪問看護サミット チームアプローチと訪問看護の未来 11/12 磯部
- 平成 29 年度プライマリケアエキスパートナース研修会 11/25 磯部
- 在宅医療介護連携コーディネーター養成研修 11/27 磯部
- 平成 29 年度厚労省在宅医療関連講師人材養成事業
訪問看護講師人材育成研修会（東京） 12/9 磯部
- 医療的ケア教育指導講師講習会 1/14 磯部
- 三重県公安員会 安全運転管理者講習会 10/3 メッセウイングにて磯部

- 三重の地域医療と介護の在り方を考えるつどい 2/4 磯部
- 在宅医療研修会 2/22

(実習受け入れ)

- 看護学校、病院看護師実習生受け入れ
 - 三重看護専門学校 5月～10月
 - 三重県立看護大学 11月～2月
- 訪問看護養成講習会実習
- 退院調整看護師養成研修実習

(其の他)

- 職員 健康診断 5月～11月で実施
- 職員 インフルエンザ予防接種 11月実施 タミフル配布
- (地域役員)
 - 三重県訪問看護ステーション連絡協議会津地区理事
 - 三重県看護職員確保対策検討委員 三重県難病医療連絡協議委員

(運営状況)

職員 (管理者1名 看護師3名 事務1名)
利用者数 延べ447名 (医療116名 介護331名)
訪問回数 延べ3,251回 (医療 827回 介護 2,424回)
休日訪問 医療32回 介護150回
正月盆休み 医療4回 介護3回
携帯電話対応 522 (時間外301) (休日157) (深夜14) (その他50)
Tel対応後臨時訪問 (18)
担当者会議 57回
退院調整カンファレンス 13回
グリーフケア 3名

平成29年度 講師実績一覧【長沼理恵先生】

	講習内容	日程	参加人数	対象者	講習場所
介護労働講習	自覚・健康管理	6月21日	38名	介護労働講習受講生	三重県勤労者福祉会館
	接遇・マナー	7月12日			
	コミュニケーション技術	9月13日 9月20日 10月11日 10月18日			
	短期講習 新人職員研修	4月19日	21名	短期講習申込者	三重県勤労者福祉会館
ケアサポート講習	法令遵守・倫理(介護職員としての心構え)	4月15日	40名	特別養護老人ホームけいのう逢春園職員	特別養護老人ホームけいのう逢春園
	虐待・身体拘束の禁止	10月18日	100名	伊勢市養護老人ホーム万龜会館職員	伊勢市養護老人ホーム万龜会館
		11月15日			
		11月22日			
	スキルアップ研修 ・ご利用者の尊厳を守るケア ・介護記録の書き方 ・介護職の医療行為の範囲 ・感染症の予防と対策 ・介護におけるリスクマネジメント	4月21日	19名	デイサービス人菜の花 雇員	デイサービス人菜の花
		5月19日			
		6月16日			
		7月14日			
		8月23日			

JA三重支所 コミュニケーション銀行

7月12日 /5名

JAセンター

事業JA研修所

(公財)介護労働安定センター三重支所

V 会館利用事業

当医師会館の一部を、産業保健センターの事務室として長期貸出をするとともに、講堂、会議室等を医療関係者が必要とする場合個別貸出をし、使用に必要な備品についても貸出をいたしました。

[主な貸出状況]

- ・年間契約による貸出状況 津地域産業保健センター
- ・個別貸出（講堂等）状況

平成29年度の貸出件数は、8件でした。

貸付料については649,740円でした。

VI 相互扶助事業

（1）全会員に対して医師会の情報提供及び連絡調整を行いました。

[主な事業実績]

- ・毎月発行の「安の津医報」で、会員相互の情報交換の実施
- ・ホームページで、会員向けの各種事業の案内
- ・県医師会広報への協力
- ・地域別班活動の調整事業

（2）会員の相互扶助と福祉増進に努めました。

[主な事業実績]

- ・会員及びその家族への慶弔
- ・会員及びその家族が参加し、研修旅行を実施
- ・各種クラブへの助成
- ・医師国民健康保険組合の健康診断料の一部助成